

令和5年度 第2回 学校運営協議会

令和5年6月27日(火)

1 日程説明 (於：校長室)

14:30～14:35

2 授業参観 ※6校時(火5) 14:05～14:55

14:35～14:55

学 級	教 科	指 導 者	教 室
1年1組	理科	片瀬 博之	理科室
2年1組	英語	藤井茉里菜	2年1組教室
3年	保健体育	高林 幸汰	プール

(於：校長室)

15:00～16:00

3 開催要件確認

4 会長あいさつ

5 校長あいさつ

6 議長の選出

7 前回会議録確認

8 熟 議

(1) 参観の様子

(2) 学校行事について

(3) 学校評価アンケートについて

(4) 2年生職場体験学習について

9 その他

・学校運営協議会自己評価について

・今後の予定

第3回 11月28日(火) 14:30～

第4回 2月16日(金) 15:00～

・部活動参観(自由参観) 16:00～

令和5年度 第1回 学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和5年4月21日（金） 14時40分から16時10分まで
- 2 開催場所 春野中学校 校長室
- 3 出席委員 鈴木 誠、児玉順子、市川相寿、正久幸廣、福島英明
- 4 欠席委員 森下廣隆、山下尚美
- 5 学 校 河合和夫（校長）、沖田 暁（教頭）、片瀬博之（CS担当職員）
- 6 傍 聴 者 なし

7 協議事項

- (1) 会長の選出及び副会長の指名について
- (2) 議長の選出について
- (3) 本年度の学校経営構想・教育課程について（学校経営書ほか）
- (4) 授業参観を通しての生徒の様子
- (5) 体育祭（秋輝祭）について
- (6) 夢育やらまいか事業に対する意見書
（案：中文連総合文化祭 ステージ部門への参加について）

8 会議録作成者 片瀬博之（CS担当職員）

9 会議記録

- ・司会の 沖田 暁 教頭から、委員総数7名のうち5名の出席があり、過半数に達しているため会議が成立している旨の報告があった。

(1) 会長の選出及び副会長の指名について

- ・市川相寿委員より 鈴木 誠 委員を推挙する旨の発言があり、他委員も同意。本人も了承した。また、鈴木会長より、児玉順子 委員を指名する旨の発言があり、本人も了承した。

(2) 議長の選出について

- ・司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、鈴木会長から立候補があり、協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

(3) 本年度の学校経営構想・教育課程について（学校経営書ほか）

- ・議長の指示により、河合和夫 校長 から別紙に基づき、学校運営基本方針についての説明があった。
- ・学校教育目標である「春野を誇りとし、自他を認め、成長する生徒」を目指していきたい。

- ・委員より以下の質問があった。
- 生徒数及び教職員数の確認と今後の推移、学校行事開催の見通しについて（鈴木委員）
- 生徒の実態把握についての方法について（正久委員）
- 部活動（現状と今後の推移、部活動基本方針、地域クラブ・外部コーチ）について
（市川委員）
- ・また、委員より以下の発言もあった。
- 地域行事も今年度から元に戻ってくる。生徒の行動範囲も広がってくる。他地域の方との接触や夜間の行動といった生徒の動向にも留意していきたい。また、生徒のボランティア参加も求められているので、学校でも促していただきたい。（市川委員）
- ・河合和夫 校長の説明により、春野中学校の学校運営基本方針について、全員異議なく承認した。

（４）授業参観を通しての生徒の様子

- ・授業（N I E 講座）参観後、委員から以下の発言があった。
- 通常の授業と違い、全校生徒が一堂に会しての講座であったこと、また、終末の部分の参観であったので、生徒に動きがなく、様子は今一つ測れなかった（鈴木委員）
- 講座自体は難しい内容のように感じたが、生徒が目的を理解していれば、とてもよい機会になったはずである。（正久委員）

（５）夢育やらまいか事業に対する意見書

（案：１年生による「春野PR活動」の充実）

- ・議長の指示により、沖田 暁 教頭より、夢育やらまいか事業に対する意見書についての説明があった。
- ・委員より以下の発言があった。
- PR場所を生徒自身が考える等、生徒の主体性を意識した活動を展開していただきたい。
（正久委員）
- ・会長ならびに委員より了承を得た。

その他連絡事項等

- ・司会から、さくら連絡網への任意登録の説明があった。
- ・司会から、次回以降の会議の日程について報告があった。
- 第２回 学校運営協議会 令和５年 ６月２７日（火）１４時４０分～１６時００分
- 第３回 学校運営協議会 令和５年１１月２８日（火）１４時４０分～１６時００分
- 第４回 学校運営協議会 令和６年 ２月１６日（金）１５時００分～１６時００分

令和5年度 秋輝祭 実施要項（案）

1. ねらい

- ・体育的行事として保健体育授業の発表の場、特別活動の協力の場、助け合いを中心とした生徒相互の結束の場、教師と生徒の信頼を深める場とする。
- ・「地域の人に元気を運ぶ春中生」の具体的な発表の場として、保護者や地域の人へ発表の一場面とする。

2. 日 時 令和5年9月9日（土） 雨天延期9月10日（日）

8：25～12：00 SB・・・14：30

3. 大会スローガン 「 今後募集予定 」

4. 大会運営組織

実行委員長（ ）

実行委員
1年2名 2年2名 3年2名

総務・・・秋輝祭実行委員長、生徒会本部役員
企画・・・各専門委員長（3名）、秋輝祭実行委員（6名）
（1年 、 2年 、 3年 ）

運営部

（秋輝祭実行委員会、生徒会本部、各専門委員会）教務：PC得点入力

実行委員会	・・・スローガン、ポスター、開閉会式の進行、賞状
生徒会本部	・・・旗関係、生徒会種目、聖火関係
衛生	・・・健闘門の設置、出発合図、トイレ清掃、案内板
生活	・・・招集、発走、本部記録用紙記入
生活	・・・得点板作成、得点板記入、着順記録
情報	・・・BGM、放送原稿作成、当日アナウンス
衛生	・・・用具準備
生活	・・・スローガン掲示制作、応援パフォーマンス（進行）

5. プログラム

No.	種目	出場者	レース 競技数	開始時刻
1	徒競走 (150m)	全員	13	9 : 00 (26分)
2	ぐるぐるバット20m走	各団代表	6	9 : 40 (10分)
3	生徒会種目	全員	1	10 : 00 (20分)
4	紅白対抗綱引き	全員	3	10 : 30 (10分)
5	玉入れ	全員 学年対抗	1	10 : 50 (10分)
6	春中ソーラン	全員		11 : 15 (15分)
7	紅白代表リレー	各団代表	1	11 : 40 (5分)

令和5年度 黎明祭 実施計画書（案）

1、ねらい

- ・学級や学年、全校生徒が一丸となって黎明祭を創り上げることを通して、1つのものを共に築き上げる喜びや達成感、協力することの大切さを学ぶ場とする。
- ・保護者や地域の方々に生徒の取組を見ていただき、「地域に元気を運ぶ春中生」の具現化を図る場とする。

2、日時 令和5年11月3日（土） 9：00～11：40

3、スローガン 「 」

※今後、実行委員会が全校にスローガンを募集し、決定をしていく。

4、実行委員について

- 実行委員を各クラス2名ずつ選出をする。
- 実行委員長は、3年生の中から1人選出をする。
- ★実行委員は、1学期中に決定してください。

5、プログラム（案）

〈黎明祭〉

9:00～ 9:15

開会式

9:15～10:00

学年発表

1年生：総合発表 2年生：三遠南信・未来会議 参加報告

3年生：英語スピーチ・わたしの主張

10:00～10:10

〈休憩〉 ※舞台転換含む

10:10～10:15

校歌斉唱

10:15～10:45

学年合唱

10:45～11:00

全校合唱

11:00～11:10

〈休憩〉 ※舞台転換含む

11:10～11:40

閉会式（講師演奏含む）

12:00～12:30

弁当

12:30～12:50

昼休み

午後：片付け・振り返り

6、担当教員について

〈黎明祭〉総括：來住

○学年発表・・・・・・・小林
※私の主張・・・・・・・稲垣
※英語スピーチ・・・・・・・藤井
○学年合唱・・・・・・・來住
○全校合唱・・・・・・・來住

〈展示〉総括：

○総合・・・・・・・学年主任
○教科・・・・・・・教科担当
○有志・・・・・・・

令和4年 春野中学校 学校評価アンケート（一覧）

（選択肢）

1. そう思う 2. だいたいそう思う 3. あまりそう思わない 4. そう思わない

番号	項目
1	私は、自分の将来に対し、夢や希望をもっている。
2	私は、自分のよいところを知っている。
3	私は、自分のよいところを知っている。
4	私は、春野中学校での学校生活は充実していると感じている。
5	私は、授業に意欲的に取り組んでいる。
6	私は、家庭において、与えられた時間以外の学習にも意欲的に取り組んでいる。
7	先生は、わかりやすく授業を進めている。
8	私は、授業で、楽しめたり、友達と力を合わせて課題に取り組んでいる。
9	私は、授業で、自分の考えをしっかりとまとめている。
10	私は、学校行事に積極的に取り組む、自分を高める（達成感を味わう）ことができた。
11	私は、課外活動（部活動）に意欲的に取り組む、自分を高める（達成感を味わう）ことができた。（付録）
12	私は、学校での自分の役割（委員、係、清掃等）に積極的に取り組んでいる。
13	私は、気持ちのよいあいさつを進んで行っている。
14	私は、時間や学校のきまりを守り、規則正しい生活をしている。
15	私は、登下校や家庭生活において、交通マナーをしっかりと守っている。
16	私の学級、学校は、安心できる場所だと感じている。
17	私は、家庭において3R（ゴミ分別を適切に人とやりとりしている場合を含む）を実践している。
18	私は、春野中の先生は学校生活の中で、自分によく声をかけてくれていると思う。
19	私は、学習や生活等について、先生に相談しやすいと感じている。
20	学校は、情報（たよりやブログ、ホームページなど）でわかりやすく発信している。
21	私は、地域の行事やボランティア活動に積極的に参加している。

番号	項目
1	お子さんは、自分の将来に対し、夢や希望をもっている。
2	お子さんは、自分のよいところを知っている。
3	お子さんは、自分のよいところを知っている。
4	お子さんは、春野中学校での学校生活は充実していると感じている。
5	お子さんは、学習に意欲的に取り組んでいる。
6	お子さんは家庭で、与えられた時間以外の学習にも意欲的に取り組んでいる。
7	お子さんは学校の授業がわかりやすいと感じている。
8	お子さんは授業で楽しめたり、友達と力を合わせて課題に取り組んでいる。
9	授業で、お子さんは自分の考えをまとめている。
10	学校行事は、お子さんの成長を促すものになっている。
11	お子さんは、課外活動（校外活動）に意欲的に取り組む、自分を高める（達成感を味わう）ことができた。
12	お子さんは、学校での自分の役割（委員、係、清掃等）に積極的に取り組んでいる。
13	お子さんは、気持ちのよいあいさつを進んで行っている。
14	お子さんは、時間や学校のきまりを守り、規則正しい生活をしている。
15	お子さんは、登下校や家庭生活において、交通マナーをしっかりと守っている。
16	お子さんは「学級、学校は、安心できる場所だ」と感じている。
17	お子さんは、家庭において3R（ゴミ分別を適切に人とやりとりしている場合を含む）を実践している。
18	お子さんは、学校生活の中で、教員からよく声をかけていると感じている。
19	お子さんは、学習や生活等について、教員に相談しやすいと感じている。
20	学校は、情報（たよりやブログ、ホームページなど）でわかりやすく発信している。
21	お子さんは、地域の行事やボランティア活動に積極的に参加している。

番号	項目
1	私は生徒に、将来の夢や希望を持たせる指導をしている。
2	私は生徒の、よいところを認める指導をしている。
3	私は生徒に、ふたがれる生き方について考えたり、他の人の考えを聞いていたりしている。
4	私は、生徒の学校生活は充実していると感じている。
5	私は生徒が、授業に意欲的に取り組むよう指導をしている。
6	私は生徒に、家庭学習（課題以外）に意欲的に取り組むよう指導をしている。
7	私は生徒が、わかりやすいと感じる授業を行っている。
8	私は生徒が、授業で楽しめたり、友達と力を合わせて課題に取り組むよう指導をしている。
9	私は生徒が、授業で自分の考えをまとめるよう指導をしている。
10	私は生徒が、学校行事で自己の成長が促されるよう指導をしている。
11	私は生徒が、課外活動（校外活動）に意欲的に取り組むよう指導をしている。
12	私は生徒が、自分の役割（委員、係、清掃等）に積極的に取り組むよう指導をしている。
13	私は生徒が、気持ちのよいあいさつを進んで行うよう指導をしている。
14	私は生徒が、時間や学校のきまりを守り、規則正しい生活を送るよう指導をしている。
15	私は生徒が、登下校や家庭生活において、交通マナーをしっかりと守るよう指導をしている。
16	私は生徒が、「私の学級、学校は、安心できる場所だ」と感じるよう指導をしている。
17	私は生徒が、家庭において3R（ゴミ分別を適切に人とやりとりしている場合を含む）を実践するよう指導をしている。
18	私は生徒に、学校生活の中でよく声をかけている。
19	私は生徒の、学習や生活等についての相談に応じている。
20	私は学校の様子、たよりやブログ、ホームページなどでわかりやすく発信している。
21	私は生徒に、地域の行事やボランティア活動に積極的に参加するよう指導をしている。

**＜令和４年度＞
学校評価アンケート【全体 肯定評価％】**

90%

以上

80%

未満

番号	質問事項	生徒	保護者	教員
キャリア	1 私は、自分の将来に対し、夢や希望をもっている。	80.0%	66.7%	100.0%
	2 私は、自分のよいところを知っている。	76.0%	88.1%	100.0%
	3 私は、自分のあこがれる生き方について考えたり、他の人の考えを聞いたりしている。	74.0%	61.9%	100.0%
	4 私は、春野中学校での学校生活は充実していると感じている。	94.0%	95.2%	100.0%
学習	5 私は、授業に意欲的に取り組んでいる。	86.0%	64.3%	100.0%
	6 私は、家庭において、与えられた課題以外の学習にも意欲的に取り組んでいる。	54.0%	33.3%	77.8%
	7 先生は、わかりやすく授業を進めている。	100.0%	73.8%	100.0%
	8 私は、授業で、話し合ったり、友達と力を合わせて課題に取り組んだりしている。	88.0%	78.6%	88.9%
	9 私は、授業で、自分の考えをしっかりとまとめている。	84.0%	76.2%	77.8%
特活	10 私は、学校行事に積極的に取り組み、自分を高める(達成感を得る)ことができた。	86.0%	95.2%	100.0%
	11 私は、部活動(校外活動)に目標をもって取り組み、自分を高める(達成感を得る)ことができている。(できた。)	74.0%	83.3%	100.0%
	12 私は、学校での自分の役割(委員、係、清掃等)に積極的に取り組んでいる。	96.0%	95.2%	100.0%
生活	13 私は、気持ちのよいあいさつを進んで行っている。	86.0%	90.5%	88.9%
	14 私は、時間や学校のきまりを守り、規則正しい生活をしている。	92.0%	81.0%	88.9%
	15 私は、登下校や家庭生活において、交通マナーをしっかりと守っている。	98.0%	97.6%	100.0%
	16 私の学級、学校は、安心できる場所だと感じている。	96.0%	90.5%	100.0%
	17 私は、節度をもってSNS(ゲーム機等を通して他人とやりとりしている場合も含む)を利用している。	82.0%	88.1%	88.9%
	18 私は、春野中の先生は学校生活の中で、自分によく声をかけてくれていると思う。	88.0%	88.1%	88.9%
	19 私は、学習や生活等について、先生に相談しやすいと感じている。	86.0%	78.6%	100.0%
渉外	20 学校は、情報をたよりやブログ、ホームページなどでわかりやすく発信している。	96.0%	88.1%	66.7%
	21 私は、地域の行事やボランティア活動に積極的に参加している。	70.0%	83.3%	100.0%

令和5年度 2年生 職場体験学習実施計画書

1 目的

- ・職場体験学習を通して、一人一人が自らの生き方を主体的に考える。
- ・働く人々とのふれあいを通して、働くことの意味を考える。
- ・校外での活動を通して、時と場に応じた行動（社会性）や自主性を身に付ける。
- ・郷土愛

2 体験場所（令和元年度－浜松・磐田市内）

職場体験場所	住 所	人 数
モニターニュ浜北店	浜北区西美蘭	2
遠鉄ストア天竜店	天竜区次郎八新田	2
公立森町病院	森町草ヶ谷	3
谷島屋サストリート浜北店	浜北区平口	2
後藤モータース	春野町領家	1
秋葉神社下社	春野町領家	1
はるのケアセンター	春野町気田	1
犬居幼稚園	春野町堀之内	1
気田幼稚園	春野町気田	2
気田小学校	春野町気田	1
犬居小学校	春野町堀之内	1
遠州漁業協同組合	磐田市豊浜	1
ローソン山東店	天竜区山東	1



令和5年度は、全て町内の企業等、一人一箇所をお願いしたい。

（生徒の希望体験先）

- ・警察署 ・カフェ ・ヤマザキショップ（ひおき） ・秋葉神社
- ・小学校（犬居、気田） ・幼稚園（犬居、気田）
- ・こぶちゃん食堂 ・郵便局 ・正久工業 ・春野スプリング
- ・はるのケアセンター ・春野図書館 ・秋葉の苑 ・理容、美容室
- ・コーチ ・寺 ・ガソリンスタンド ・接客業

3 日 時 令和5年10月4日（水）、5日（金） 午前9時から午後3時

4 日 程（令和元年度）

8：15 自宅出発－8：45 体験場所到着－9：00 職業体験（昼食含む）－
14：45 体験終了－15：00 体験場所出発－15：30 自宅到着（学校到着）

※ 2日間ともに現地集合。体験終了後は自宅に帰り、帰宅後、全員学校へ無事帰宅したことを電話連絡（989－0023）をする。

※ 両日、部活動なし。



令和5年度は、スクールバスと保護者の迎えで対応したい。

5 その他

- ・マナーや礼儀等について事前指導をする。（マナー講座を実施）
- ・学年職員が生徒の訪問先を巡回し、見届けをする。
- ・活動中、生徒の過失による損害賠償責任が生じた場合、賠償責任保険にて対応する。
- ・終了後は、体験場所へお礼状を書く。学んだことをまとめ、総合の時間に発表する。

学校運営協議会自己評価実施要項

浜松市教育委員会

1 趣旨

この要項は、浜松市学校運営協議会規則（令和元年 浜松市教育委員会規則第2号）第8条に規定する学校運営協議会（以下「協議会」という。）の自己評価の実施について必要な事項を定める。

2 評価の目的

各協議会が、自らの取組について、その取組内容や達成状況等について自己評価し、改善につなげることにより、保護者、地域住民等の対象学校の運営への参加を促進し、当該運営の改善及び児童生徒の教育活動の充実を図る。

3 評価の実施

協議会は、以下の評価項目について自ら評価を行う。

<評価項目>

（必須） ※全ての協議会で行う。

- 1 学校運営の基本方針について熟議することができたか。
- 2 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。
- 3 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。
- 4 今年度の取組の評価を踏まえた来年度の目標

※ 各協議会で追加する項目があれば5以降に設定する。

4 自己評価の結果の報告書の作成

協議会は、自己評価結果を様式1により、簡潔にとりまとめる。

5 評価結果の公表

協議会は、自己評価の結果について、CS便りや学校のホームページ等を活用し、広く保護者や地域住民等に公表するよう努める。

6 評価結果の報告と改善支援

(1) 教育委員会への報告

協議会は、様式1を当該年度末の指定する日までに教育委員会へ提出する。

(2) 教育委員会による改善支援

ア 様式1の活用

様式1は教育委員会教育総務課が集約し、各協議会の運営状況について把握するための資料とする。

イ 評価結果等に基づく改善支援

教育委員会は、評価結果等に基づき、各協議会の取組の改善が図られるよう、必要な助言又は指導を行う。

附 則

この実施要項は、令和2年9月1日から施行する。

この実施要項は、令和5年4月1日から施行する。

(様式2)

令和5年度 学校運営協議会自己評価表

委員名 ()

＜本年度の目標＞

※ 協議会で設定した取組目標を記載する。

＜評価項目1＞ 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

※ 参考資料【熟議チェックシート】等をもとに、振り返りを行う。

※ 学校運営の基本方針（自校の学校教育目標や「育てたい力」等）について、協議した内容を簡潔に記載する。

※ 委員個人の意見だけではなく、協議会としての視点で記載する。

＜評価項目2＞ 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

※ 参考資料【熟議チェックシート】等をもとに、振り返りを行う。

※ 成果・課題などを簡潔に記載する。方法論だけではなく、「育てたい力」や「目指す子供の姿」とのつながりをポイントにする。

※ 委員個人の意見だけではなく、協議会としての視点で記載する。

＜評価項目3＞ 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

※ どんな方法による情報発信を行ったか、それによってどのような効果があったのか等を振り返って記載する。

＜評価項目4＞ 今年度の取組の評価を踏まえた来年度の目標（取組の重点）

※ 委員個人の目標だけではなく、協議会全体としての目標を記載する。

(様式2)

令和5年度 学校運営協議会自己評価表

委員名 ()

＜本年度の目標＞

--

＜評価項目1＞ 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

--

＜評価項目2＞ 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

--

＜評価項目3＞ 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

--

＜評価項目4＞ 今年度の取組の評価を踏まえた来年度の目標（取組の重点）

--

【 熟議チェックシート 】

委員名 ()

できている もう少し

評価項目 1		校長の説明を聞いて、分からない用語や疑問に感じたことを質問し、それに対して理解・納得できる回答が得られた。
		基本方針の承認にあたり、校長の説明を聞き置くだけでなく、よりよい学校運営のために建設的な意見を発言できた。
		学校教育目標や学校運営の基本方針についての内容を理解し、共有した。
		学校評価などの評価結果を生かした改善について確認した。
		学校運営について、率直に意見を述べることができた。
評価項目 2		学校の教育目標と学校支援活動とのつながりを意識して、協議会で協議を重ねた。
		熟議の結果、学校、家庭、地域がそれぞれ実行すべきこと、役割分担が明確になった。
		これまで行われてきた学校支援活動についても、教育目標とのつながりや学校、家庭、地域の役割分担を考え、見直すことができた。
		協議会で決定し、実施した学校支援活動について、振り返りや反省を行った。

地域とともにある学校づくり推進フォーラム2023 茨城

これからのコミュニティ・スクール

～令和の日本型学校教育の実現に向けて～

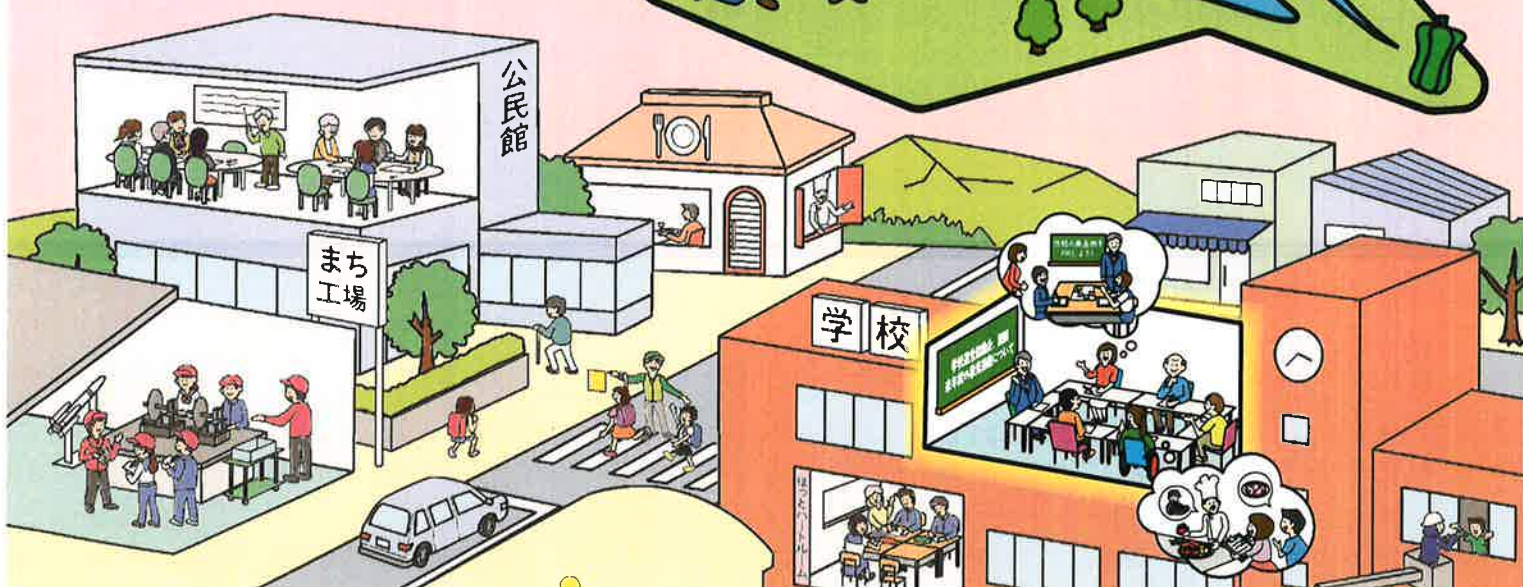
日時 令和5年7月15日(土)

13:00～16:45 (会場受付:12:30開始)

会場 茨城県庁 9階講堂
(〒310-8555 水戸市笠原町978番6)

対象者

教職員、行政職員、学校運営協議会委員、地域学校協働活動推進員、地域コーディネーター、学校評議員、学校支援ボランティア、保護者、地域住民や自治会・PTA、企業団体等、地域と学校の活動に関わっている全ての方



主催:文部科学省、茨城県教育委員会 後援:全国知事会、全国市長会、全国町村会、全国都道府県教育委員会連合会、全国市町村教育委員会連合会、指定都市教育委員会協議会、全国都市教育長協議会、中核市教育長会、全国町村教育長会、全国コミュニティ・スクール連絡協議会、公益社団法人日本PTA全国協議会、一般社団法人全国高等学校PTA連合会、公益社団法人 全国子ども会連合会、茨城県市長会、茨城県町村会、茨城県市町村教育委員会連合会、茨城県市町村教育長協議会、茨城県都市教育長協議会、茨城県町村教育長会、茨城県PTA協議会、茨城県子ども会連合会



文部科学省

MINISTRY OF EDUCATION,
CULTURE, SPORTS,
SCIENCE AND TECHNOLOGY



茨城県教育委員会

Ibaraki Prefectural Board of Education

これからのコミュニティ・スクール ～令和の日本型学校教育の実現に向けて～

コミュニティ・スクールと地域学校協働活動を一体的に実施することは、学校運営の強化、学校の教育目標の実現のみならず、我が国の将来を担う子供たちを地域全体で育む地域とともにある学校づくりと、地域や子供をめぐる課題解決のためのプラットフォームにもなり得る学校を核とした地域づくりを進めるために欠かせません。

このことについて、様々な関係者が理解を深め、今後のコミュニティ・スクール導入促進と質的向上に取り組む契機としていただくため、本フォーラムを開催します。

開会行事

13:00～13:20

第1部 座談会「これからのコミュニティ・スクールに期待すること」

13:25～14:35

(1)行政説明 文部科学省

(2)座談会

パネリスト

安齋 宏之 氏 (CSマスター、ふくしま学校と地域の未来研究所 代表)

清原 慶子 氏 (中央教育審議会委員、杏林大学客員教授)

熊谷 慎之輔 氏 (岡山大学 学術研究院教育学域 教授(副研究科長・副学部長))

モデレーター

志々田 まなみ 氏 (国立教育政策研究所 総括研究官)

話題

話題1:「社会に開かれた教育課程」の実現

話題2:不登校対応

話題3:学校における働き方改革



休憩

14:35～14:50

第2部 事例発表

14:50～16:30

司会

四柳 千夏子 氏 (CSマスター、三鷹市統括スクール・コミュニティ推進員)

テーマ1

「社会に開かれた教育課程」の実現

1

義務教育段階

学校運営への参画を推進するために

～授業を核にして深い学校理解を促すために～

発表者

牛久市教育委員会 生涯学習課
社会教育主事 稲富 純子 氏

牛久市立牛久南中学校
教務主任 村松 智子 氏

コメンテーター

齋藤 博伸 氏
(国立教育政策研究所
教育課程調査官)



2

高等学校

「社会に開かれた教育課程」の実現に向けて

～コミュニティ・スクールと「富士山学」の取組～

発表者

山梨県立吉田高等学校
校長 権太 正弘 氏

山梨県立吉田高等学校
教頭 野澤 俊英 氏

コメンテーター

加藤 智 氏
(国立教育政策研究所
教育課程調査官)



テーマ2

不登校対応

地域と学校の連携・協働による不登校児童への支援

発表者

浅口市立寄島小学校
教頭 池上 宗一郎 氏

コメンテーター

野澤 令照 氏
(CSマスター、利府町
文化交流センター
「リフス」センター長)



テーマ3

学校における働き方改革

水戸市版 地域学校協働活動の推進 ～教員の負担軽減に向けた 地域との協働の事例～

発表者

水戸市教育委員会 生涯学習課
社会教育主事 石井 浩司 氏

コメンテーター

森 万喜子 氏
(前小樽市立
朝里中学校長)



閉会行事

16:35～16:45

参加はこちらから



<https://forms.gle/HeifcuFIBtuDDet7>

参加方法

「会場参加」「Web視聴」の2種類があります。
いずれも無料です。

申込先

左記のQRコードまたはURLからお申込みください。

申込期限

令和5年7月10日(月)

資料・視聴方法

メールにて、開催日の3日前を目途に、お送りします。
資料は、会場での紙媒体での配付はありません。

問い合わせ先 申込受付・資料送付

特定非営利活動法人教員支援ネットワーク T-KNIT
(cs-ibaraki2023@t-knit.or.jp)

その他

当日の接続不具合についてのお問い合わせには、
ご対応いたしかねます。

今後の開催予定

全国コミュニティ・スクール研究大会in南部町/
地域とともにある学校づくり
推進フォーラム2023 南部町

開催地

鳥取県南部町

期日

令和5年12月15日(金)

会場

米子コンベンションセンター